

令和 5 年度
事業報告書

社会福祉法人琴平町社会福祉協議会

目 次

事業総括	P1
I、法人運営	P2～P6
1, 会員の状況	P2
2, 理事会の開催、監事による監査	P2
3, 評議員会の開催	P2～P3
4, 評議員選任・解任委員会	P3
5, 組織及び事務局運営	P3～P4
6, 事業打合せ研修	P4～P5
7, 実践報告	P5
8, 視察来所	P6
9, 広報・啓発活動	P6
II、地域共生社会における地域福祉の推進	P6～P24
1, 地域福祉推進に向けた包括的推進体制の構築	P6～P20
2, 福祉教育ボランティア学習	P20～P21
3, 各行事の開催	P21
4, 関係機関・団体との連携と協力	P22
5, 相談支援・権利擁護	P22～P24
III、介護・生活支援サービス	P24～P30
1, 在宅福祉サービス及び生活支援サービス事業	P24～P27
2, 介護・障害福祉サービス	P27～P30
IV、共同募金運動	P30～P32
V、収益事業	P33
1, 特産品活用事業	P33
VI、公益事業	P33
1, まちのキッチン「もぐもぐ」の運営	P33

事業総括

令和5年度は、社協が行う行事やボランティア団体が行う地域行事がコロナ禍前の状況に戻ってきた。特に子どもを対象とした415のわが行ったハロウィンイベントでは、過去最多数の100人を超える方々が集まり、K³が行う「キッズことリンピック」や「K³と遊ぼう」企画でも、多くの子どもたちが参加し、地域づくりを担う幅広い世代の活躍は、本町にとっても大変重要であり、今後も一緒に連携・協働して本町の地域づくりに取り組むこととしている。各地区ネットでは、地域住民同士のつながりを意識した行事を企画し、実践してきた。重層的支援体制整備事業移行準備事業の最終年度ということで、行政との連携協働が非常に密にできた一年となった。個別支援関連では、今まであまり情報提供がなかった子育て世帯について、フードバンクを利用したことがきっかけにより、教育機関、行政、社協、県等関係者が集まり、ケース会を定期的で開催し、役割分担を行い、絡まった紐をひとつひとつ解いていき、子どもたちが安心した生活ができるように連携しながら支援を継続的に行っている。令和6年度から重層的支援体制整備事業が本格実施されることから行政と住民、社協の連携協働が今後、より一層求められる。また、「まるっと安心サービス」では、みんなで支えるようにと基金を設置することが決定した。基金ができることによって、寄付文化の醸成と共に、一人ひとりを支え合う地域共生社会の実現に向けての方向性が一つできた。

琴平社協40周年企画として、3回にわたって社協と共に活動を推進くださった方々を交えて懇談を行い、内容を「福祉ことひら」に掲載した。最終回の時には、顧問である大橋謙策氏にも参加していただき、これからの社協としての取り組み、方向性を示唆くださり、令和6年度につなげていくことになった。この企画によって、琴平社協の歴史を振り返り、改めて役員含めて職員の理解度も深まったように感じる。

最後に、この一年間で、地区ネットの役員を中心に丁寧に地域の方々と共に実践を行っている成果が見られる。働きづらさを抱えている方、引きこもり気味の方々の発見と地区担当職員との連携により、中間就労の場に結びついたケースも出てきた。地域から個別課題の解決へ地区ネットを通して徐々に広がりが出てきた。

令和5年度重点目標

①包括的支援体制構築、行政と局内連携体制の構築

2か月に1回定期的に、実務者会議（住民福祉課：課長、主任2人）を行い、主に事業についての共有を行ってきたことで、委託事業等の実施上の課題について協議ができた。その結果、要綱の変更等につながった。

②特例貸付免除対象者に向けたチームアプローチ

免除申請及び猶予申請手続きの支援を行ってきたが、チームアプローチでの支援ができなかった。事務局内では、地区担当制の取組を進めることで、職員間の情報共有につながってきた。

③災害及び感染症対応体制の推進（BCPの策定）

感染症対応体制としてのBCP及び災害時のBCPも策定。しかし、内容の確認をしていく中で、不十分などところがあるので、継続的に企画し、実行性あるものにしていきたい。

I、法人運営

1、会員の状況

種別		会員数	金額（円）	前年度比（円）
一般会員	世帯	2,040	1,020,000	△47,500
賛助会員	個人	120	303,000	△41,000
特別会員	事業所等	65	740,000	37,000
総 数			2,063,000	△51,500

2、理事会の開催、監事による監査の実施

令和5年5月24日	監 査	地域福祉ステーション
令和4年度事業及び会計監査		
令和5年5月31日	第1回理事会	地域福祉ステーション
議案第1号 令和4年度琴平町社会福祉協議会事業報告書（案）について		
議案第2号 令和4年度琴平町社会福祉協議会収支決算書（案）について		
議案第3号 監査報告について		
議案第4号 理事・監事候補者の推薦の提案について		
議案第5号 令和5年度 第161回評議員会の招集について		
令和5年6月21日	第2回理事会	地域福祉ステーション
議案第1号 会長、副会長の選任について		
令和5年11月13日	第3回理事会	地域福祉ステーション
議案第1号 令和5年度琴平町社会福祉協議会会計（第1回）補正予算（案）について		
議案第2号 経理規程の改正について		
議案第3号 定款の変更について		
議案第4号 評議員の補充候補者の提案について		
議案第5号 令和5年度 第162回評議員会の招集について		
令和6年3月8日	第4回理事会	地域福祉ステーション
議案第1号 令和6年度琴平町社会福祉協議会事業計画（案）について		
議案第2号 令和6年度琴平町社会福祉協議会収支予算（案）について		
議案第3号 令和5年度 第163回評議員会の招集について		

3、評議員会の開催

令和5年6月15日	第161回評議員会	地域福祉ステーション
議案第1号 令和4年度琴平町社会福祉協議会事業報告書（案）について		
議案第2号 令和4年度琴平町社会福祉協議会収支決算書（案）について		
議案第3号 監査報告について		
議案第4号 理事・監事の選任について		
令和5年11月28日	第162回評議員会	地域福祉ステーション
議案第1号 令和5年度琴平町社会福祉協議会会計（第1回）補正予算（案）について		

議案第2号 定款の変更について		
令和6年3月21日	第163回評議員会	地域福祉ステーション
議案第1号 令和6年度琴平町社会福祉協議会事業計画（案）について		
議案第2号 令和6年度琴平町社会福祉協議会収支予算（案）について		

4. 評議員選任・解任委員会の開催

令和5年11月13日	第6回評議員選任・解任委員会	地域福祉ステーション
議案第1号 評議員の補充選任について		

5. 組織及び事務局運営

①職員会の定例開催及び朝礼の実施

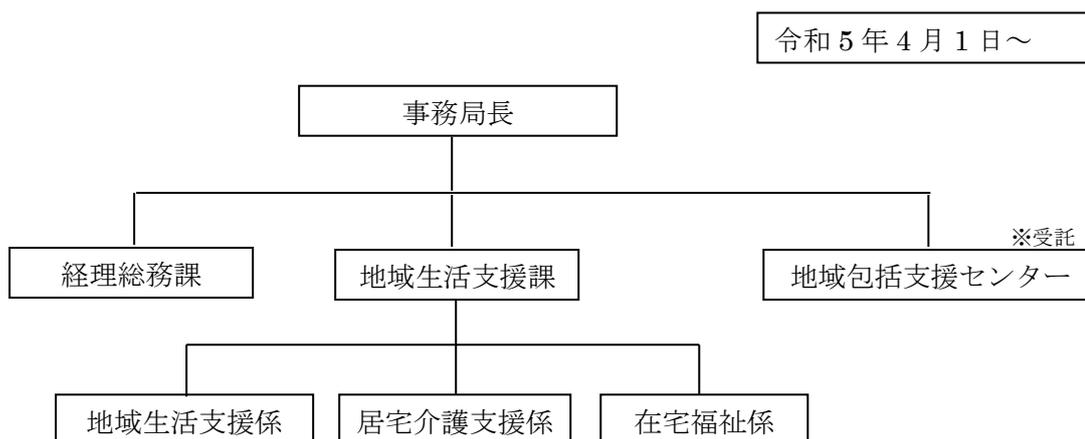
※朝礼は毎日8時30分から実施。一日の業務日程を各職員から報告。

②職員体制

職員	人数	取得資格の状況
正規職員	18名	・社会福祉士 8名 ・介護福祉士 13名
非正規職員	10名	・介護支援専門員 10名 (内主任ケアマネ 4名)
登録ヘルパー	11名	・精神保健福祉士 1名 ・社会福祉主事 3名 ・歯科衛生士 1名 ・看護師 2名
		・調理師 0名 ・ホームヘルパー 5名 ・准看護師 2名 ・認知症ケア専門士 1名 ・栄養士 1名 ・保育士 1名 ・保健師 2名 ・手話奉仕員 2名

(令和6年3月31日現在)

③事務局体制



④福祉ことひら 年3回発行 職員が輪番制で編集

40周年記念発刊として3回シリーズで、これまでの琴平社協の取組を振り返る

⑤社協強化発展計画の遂行

- ア、会長・事務局長・次長による定期協議
 - ・組織運営及び事業について
- イ、管理職会議の毎月の定例開催

- ・各係から進捗状況の報告
- ・情報共有

ウ、地域福祉推進実務者会議の開催 6回開催（偶数月）

地域共生社会の実現に向けて、社協・包括の動きの伝達、課題に対して情報共有している。

- ・参加者 住民福祉課 主幹、主任
社協 会長、局長、次長、課長補佐、係長
包括 主任

エ、敷地内清掃の実施 毎週火曜日 17時～17時15分

⑥地域福祉活動計画の策定

住民福祉課と協議を行い、地域福祉計画と一緒に策定をした。

- ・地域福祉計画策定委員会への参加
- ・地区ネット役員との協議 12月19日（火）13時30分～

6. 事業打合せ及び研修

<法人の為の研修>

日付	内容	開催場所
4月15,16日	氷見市地域福祉実践セミナー	富山県
4月27日	社協職員基礎研修	高松市
5月16日	第3回福祉懇談会	高松市
6月19日	香川県小規模社会福祉法人等のネットワーク化推進事業実践報告会	高松市
6月29日	令和5年度香川県キャラバンメイト養成研修	高松市
7月18,19日	防災管理者講習	丸亀市
7月20日	コミュニティソーシャルワーク実践者養成研修	高松市
7月28日	令和5年度オーラルフレイルセミナー	高松市
7月28日	福祉教育全国ファシリテーション研修	高松市
8月9日	県内社協管理職研修	高松市
8月10日	福祉教育研修	高松市
9月12日	令和5年度第2回企画委員会	高松市
9月12日	香川おもいやりネットワーク事業連絡会	高松市
9月13日	令和5年度全国労働衛生週間説明会	丸亀市
10月19日	香川県社会福祉大会	高松市
10月25,26日	コミュニティソーシャルワーク実践者養成研修	高松市
10月31日	令和5年度相談技法研修会	高松市
11月9日	県内社協役員等研修会	高松市
11月16日	ファシリテーション技術向上研修会	高松市
11月24日	令和5年度認知症予防研修会	高松市
11月30日	令和5年度香川県認知症初期集中支援チーム員研修会	高松市

	令和5年度香川県チームオレンジ・コーディネーター養成研修会	
12月20日	令和5年度第1回香川おもいやりネットワーク事業担当者会	高松市
1月18日	コミュニティソーシャルワーク実践者養成研修	高松市
1月19日	県内社協実践研究大会	高松市
1月31日	令和5年度第2回香川おもいやりネットワーク事業担当者会	高松市
2月6日	第2回社会福祉連携協働セミナー	高松市
2月7～9日	相談機能付食支援体制整備事業研修会	東京都
3月7日	令和5年度中讃地区認知症疾患医療連携協議会	坂出市

< 県内社協事務局長関連 >

日付	内容	開催場所
5月24日	令和5年度第1回県内社協連絡協議会理事会	高松市
11月10日	県内社協常務理事・事務局長セミナー	高松市
2月19日	県内社協常務理事事務局長等会議	高松市

< 地域福祉推進委員会関連 >

日付	内容	開催場所
7月5日	香川県地域福祉推進委員会企画委員会	高松市
9月6日	香川県地域福祉推進委員会企画委員会	高松市
11月24日	香川県地域福祉推進委員会企画委員会	高松市
11月30日	県内社協第1回地域福祉研究会	高松市
12月11日	香川県地域福祉推進委員会企画委員会	高松市
1月30日	県内社協第2回地域福祉研究会	高松市
3月13日	県内社協第3回地域福祉研究会	高松市

< 災害関連 >

日付	内容	開催場所
7月7日	令和5年度社会福祉事業における事業継続計画を考える研修会	高松市
11月28日	令和5年度災害ボランティアセンター運営者養成研修	高松市
1月22日	災害ボランティアに関する三者連携訓練	高松市
1月27日	災害ボランティア運営訓練	高松市
2月15日	令和5年度県内社協における災害対応担当者会	高松市

※災害支援派遣

令和6年1月9日～12日

富山県氷見市災害ボランティア・ささえあいセンター

職員1名の派遣

7. 実践報告

期日	派遣先	研修名
2月17日	宇多津町	宇多津町防災研修会

8. 視察来所

期 日	団 体 名	内 容
5月30日	茨城県東海村社協	地域福祉活動について
1月24日	長野県東御市議会	ガリック娘の取組について
3月18日	岡山県笠岡市社協	地域福祉活動について

9. 広報・啓発活動

①回覧

- ・事務局通信シャントセナの発行
毎月発行して、事務局から報告、予定、動向をまとめ発行している。
- ・福祉ことひらの発行
年3回の発行。住民参加の広報紙としての位置づけをし、地区の活動等を掲載。

②ホームページの運用

③SNSによる発信

こんぴら朝市、共同募金のSNSを作成し、情報を発信している。

II、地域共生社会における地域福祉の推進

今までコロナ禍において規制がかかっていたものがなくなり、地区ネットの活動や行事が通常通りにできたことによって、ますます住民との協働の場が推進できた。おもいやりネットワークとして施設法人、団体との連携した取り組みが多くなった。

1. 地域福祉推進による包括的な支援体制の構築

(1) 地域福祉推進体制

①福祉委員活動

i フードバンクへの協力

フードバンクとなる食料品を声掛け等によって集めた。

地 域：13件 食料品他おむつ等

正友会：2回 食料品

配布数：72回

ii 見守り・声掛け活動

新型コロナウイルスの影響によって、引きこもりがちになっている高齢者を中心に気にかけて、何かあれば社協に連絡をしてもらうよう周知を行った。

②地域福祉懇談会

8月下旬から10月にかけて民生委員担当地区ごとに自治会長、福祉委員と情報共有を行った。

開催数 31回 参加者：民生委員児童委員、地区担当職員、住民福祉課

③民生委員児童委員との個別協議の実施

民生委員児童委員協議会会長から、民協と社協は両輪でなければならないという趣旨

から一人ひとりの民生委員と地区担当職員との懇談を行った。

i 民生委員児童委員数：31名

ii 参加者：地区担当職員、住民福祉課（町）

iii 内容：独居高齢者や気になる世帯に対しての情報共有

iv 成果：民生委員児童委員が持っている情報をもとに、地区担当職員による訪問を行うことができ、継続的な支援につながった。また、社協からの情報をもとに、民生委員児童委員との情報交換により、活動が広がってきた。

④各地区ネット活動の活性化

i 各地区ネット活動（各地区地域福祉推進連絡会）

<琴平地区>

名称：こんびらアイネット

場所：琴平町地域福祉ステーション研修室

開催日	協議内容	参加者数
4月28日	にんにくフェスタ書類審査、当日の mobi 活用方法について	12名
5月26日	にんにくフェスタ実食審査会について、mobi について、当日参加店舗	9名
6月16日	にんにくフェスタ当日参加人数、役割、朝市当番	10名
7月13日	にんにくフェスタ反省会、来年について、今後の行事について、当番	14名
9月22日	キッチンカーイベントについて、内容、朝市当番、スマートボール台について	8名
10月20日	キッチンカーイベントについて、出店キッチンカー、当日内容、朝市当番	9名
11月21日	キッチンカーイベント出店、内容確認、朝市当番	10名
12月18日	キッチンカーイベント振り返り、今後について	10名
R6.1月25日	地域福祉計画について、災害に備えて	7名
R6.2月19日	防災マップ作成について	6名
R6.3月28日	防災マップ作成について	8名

考察：こんびら朝市実行委員会と合同で毎月定例会を行い、朝市実行委員会と一緒ににんにくフェスタとキッチンカーイベントを開催できた。後半は、地域福祉計画策定に伴い、時間帯をずらし、こんびらアイネットとして今後について協議することができた。

<榎井地区>

名称：榎井ハッピーネット

場所：琴平町地域福祉ステーション、総合センター

開催日	協議内容	参加者数
4月18日	第8回榎の木フェスタについて	19名

4月26日	第8回榎の木フェスタについて（役員との打合せ）	6名
5月16日	第8回榎の木フェスタについて	17名
5月30日	第8回榎の木フェスタについて	18名
7月25日	榎の木フェスタの反省会、今後の活動について	17名
9月12日	地区ネット活動、防災マップ作りについて	29名
1月31日	第9回榎の木フェスタについて	16名
2月13日	第9回榎の木フェスタについて（役員会）	8名
2月27日	第9回榎の木フェスタについて	17名
3月27日	第9回榎の木フェスタについて	19名

考察：昨年に引き続き、榎井小学校の協力の下、授業参観後に児童、保護者が参加した。防災と地域のつながりをテーマに地域の方に多数ボランティアとして参加していただき、子どもたちとの交流が図れた。また、登下校時の危険個所を親子で確認し、写真を撮ってメールで送信する情報伝達訓練を行った。

○第8回榎の木フェスタの開催

開催日時：令和5年6月4日（日）

開催場所：榎井小学校

内 容：AED体験、心肺蘇生法、救助工作車、こんぴらカルタ、榎の木井等

参加者数：約200名

※小学校行事として、PTAの参加も有り。

○児童との防災マップ作り

6月26日（月） 榎井小学校教員と役員の打ち合わせ

7月 6日（木） 参加：役員1名、地区担当職員

榎の木フェスタで撮った写真を6年生と一緒に地図に貼り付ける

<五條地区>

名 称：五條互助ネット

場 所：仲多度南部消防本部消防組合

開催日	協議内容	参加者数
6月 2日	役員会	4名
6月12日	役員会	4名
7月10日	災害に備える取り組みについて	18名
11月8日	役員会	4名
12月7日	ふれあい弁当、防災マップ作成について	25名
2月13日	ふれあい弁当打ち合わせ	4名
2月24日	ふれあい弁当配布	18名
3月15日	役員会	4名
3月28日	防災マップづくりについて	24名

考察：ふれあい弁当を元あゆみ会のメンバーと一緒に互助ネットで配布者を募ったと

ころ、多くの協力があり、新たな仕組みでふれあい弁当を継続する事ができた。
また、防災マップづくりを小地域ごとに順次作っていくこととした。

<象郷地区>

名 称：楽集館あったかネット

場 所：楽集館

開催日	協議内容	参加者数
5月11日	今年度の行事について	7名
7月7日	楽集館の利用規約について、宿題応援隊、如意山山登りの内容検討	8名
9月7日	如意山（櫛梨山）展望山歩きの内容検討	9名
9月15日	如意山（櫛梨山）展望山歩き下見	7名
9月28日	如意山展望山歩きの下見についての感想	8名
11月2日	如意山展望山歩きの打ち合わせ	9名
11月11日	如意山（櫛梨山）展望山歩き	17名
12月14日	如意山（櫛梨山）展望山歩きの反省、地域福祉活動計画についての説明	8名

考察：如意山山歩きを一大イベントとし、開催に向けて年間を通して検討を行った。

また、子どもたちにもっと楽集館を知ってほしい、子どもたちと地域の方々の交流を目的に夏休みに宿題大作戦を行い、2名のみ参加であったが、継続的に行っていくこととなった。

○宿題大作戦（夏休み）

開催日：8月3日（木）

場 所：楽集館

参加者：2名

○如意山（櫛梨山）展望山歩き

開催日：11月11日（土）

場 所：櫛梨神社

内 容：如意山山歩き、防災食の提供（アルファ米を使った炊き込みおにぎり）

参加者：17名（小学生8名、一般9名）

⑤「ささえ愛こんぴら」の推進

生活支援コーディネータを中心に琴平町全域における、地域ニーズからの対策・支援を考え、サービスの企画実施を行う。

i ささえ愛こんぴらの開催

回	開催日	内 容	参加者数
役員会	1月23日	①協議事項 ・開催日について ・協議内容について ②ささえ愛隊について ③訪問型サービスBについて	3名

第25回	2月24日	①ささえ愛こんぴら説明 ②各地区ネット報告 ③協議 住民参加型在宅福祉サービス「ささえ愛隊」について ④その他 ・こんぴら朝市 ・買い物号	14名
------	-------	-----------------------------------------------------------------------------------------	-----

ii こんぴら朝市実行委員会への参画・協力

実行委員会：琴平町、琴平町観光協会、琴平町商工会、ささえ愛こんぴら、こんぴらアイネット

目的：町内の様々な関係機関と連携し、買い物支援として朝市を開催することを目的とする。

事務局：琴平町社会福祉協議会

場所：琴平町地域福祉ステーション研修室

月日	内容
4月28日	にんにくフェスタ書類審査、当日のmobi活用方法について
5月26日	にんにくフェスタ実食審査会について、mobiについて、当日参加店舗
6月16日	にんにくフェスタ当日参加人数、役割、朝市当番
7月13日	にんにくフェスタ反省会、来年について、今後のイベント、当番
9月22日	キッチンカーイベントについて、内容、朝市当番、スマートボール台について
10月20日	キッチンカーイベントについて、出店キッチンカー、当日内容、朝市当番
11月21日	キッチンカーイベント出店、内容確認、朝市当番
12月18日	キッチンカーイベント振り返り、今後について
1月25日	直近の報告事項、温泉ガストロノミー同時開催
2月19日	直近の報告事項、今後について
3月28日	直近の振り返り、報告事項、今後について

<こんぴら朝市> 場所 一之橋公園

開催日	店舗数	開催日	店舗数	開催日	店舗数	開催日	店舗数
4/9	9	7/9	7	10/8	9	2/11	6
4/23	11	7/23	11	11/12	7	2/25	1
5/14	9	8/13	7	11/26	9	3/10	6
5/28	8	8/27	8	12/10	4		
6/11	8	9/10	5	1/14	6		

6/25	11	9/24	9	1/28	6		
------	----	------	---	------	---	--	--

課題：安定した店舗の確保、町民の利用

○こんぴらにんにくフェスタの開催

開催日：6月25日（日）13:00～16:00

内容：料理コンテスト表彰、フリーマーケット、琴平婦人会による炊き出し、ポンプ車及び救急車の展示等

iii 買い物号の運行

買い物に必要な方を対象に運行

毎週月・木 10時～12時（おおむね）

利用総数：102日 686人（令和4年度）465人

<実施状況>

月	運行日数	延利用者数
4月	8日	53名
5月	8日	57名
6月	9日	53名
7月	9日	62名
8月	4日	31名
9月	8日	51名
10月	9日	64名
11月	9日	63名
12月	8日	60名
R6.1月	8日	62名
2月	8日	68名
3月	9日	62名

iv 買い物支援（マルナカとの連携）

高齢者がマルナカに買い物に来て、荷物を帰りに持ち帰れない方に対して、配送を手伝う。

延利用者数 109人（令和4年度 104人）

<内訳>

月	利用者数	月	利用者数
4月	10	10月	11
5月	11	11月	10
6月	13	12月	3
7月	10	1月	5
8月	13	2月	9
9月	7	3月	7

v 住民参加型在宅福祉サービス「ささえ愛隊」発足

住民が住民を支え合うことを目的に、「ささえ愛隊」を結成。長い間、ささえ愛コンビで協議してきたことが実現できた。

○会員数及び隊員数

会員 28名

隊員 28名

利用状況：訪問型サービスBとの併用

○収入と支出

登録料 1,000円 チケット 10分 100円

収入 69,200円 支出 52,200円 差引 17,000円

○活動実績

主な内容：ゴミ捨て、軽微な草抜き、お墓参りの付き添い、ペットの世話及び散歩、水道管の簡単な補修等

入院しなければならないが、ペットを飼っていることから入院を拒否していた方を、ささえ愛隊で、1日3回訪問して餌やりや散歩を行ったことで入院できた。

ささえ愛隊実績 年間件数 231件 延利用者数 311人

訪問型サービスB（介護保険） 延利用者数 242人

（訪問B内訳）

月	件数	月	件数
4月	19	10月	17
5月	13	11月	20
6月	19	12月	23
7月	19	1月	24
8月	22	2月	23
9月	23	3月	20

（2）ふれあいいいききサロンの推進

近年コロナ禍によって、サロンの活動が衰退していたが、令和5年度には、2件新しくサロンが立ち上がった。近隣の方が引きこもっているとのことで、サロンを開催することに至った。引きこもり状態から抜け出し、おしゃべりをするすることで介護予防につながることで、今後もサロンの推進に取り組んでいきたい。

ア、箇所数 31箇所

イ、チャリティー収益金よりひだまりクラブ助成金を各クラブに助成した。

助成総額 230,000円

（3）拠点運営

①ちよつとこ場

○ちよっとこ場ボランティア数 530名

○ちよっとこ場利用者数 令和5年度 3,417名 (R4年度 2,859名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ボランティア数	46	46	47	47	43	42	45	44	43	46	41	40	530
地元	81	83	102	88	114	96	125	90	122	108	150	108	1267
観光客	132	390	82	99	103	83	101	143	113	605	175	124	2150
													3417

○写経クラブ活動 ・豊作会 水曜日 参加者数5名
(運営にも携わってくれた)

○ひだまりクラブ 1サロン活用 手あそび会 (富士見町) 毎月第2水曜日

○スマホ講座 第1第3火曜日

○琴平まちじゅう図書館 月曜日

②地域福祉拠点「楽集館」

象郷地区の地域福祉拠点として、近隣自治会の集会の場、スポーツ少年団の集まり、ボランティアグループの活動の場、ねむ工房や楽集館あったかネットなど様々な会合の場などに使用されている。また、学習支援の場として、楽集館あったかネットが夏休みに宿題大作戦を行った。

<利用状況>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
団体	7	10	7	12	10	7	7	9	5	4	6	6	90
人数	50	87	73	126	109	81	56	109	51	39	58	48	887

③五條集いの場

体操：第1, 3木曜日 開催数 20回 参加者数：100人

手芸：毎週火曜日 開催数 41回 参加者数：123人

④梅ちゃん家

ささえ愛隊の拠点として活用

(4) 地域包括支援センターの業務

○人員体制 6名

資格	人数
社会福祉士	2名
主任介護支援専門員	1名
保健師	1名
介護支援専門員	2名

①総合相談

住民の心身の状況や生活の実態、必要な支援等を幅広く把握し、相談を受け、地域における適切な保健・医療・福祉サービス、機関又は制度の利用に繋げる等の支援を行っている。

緊急時には担当者が不在であっても体制を整えている。

総合相談							
月	相談件数	実人数	認知症	月	相談件数	実人数	認知症
			内実人数				内実人数
4月	19	12	1	10月	34	31	3
5月	34	20	0	11月	39	32	3
6月	28	19	2	12月	20	17	2
7月	30	26	0	1月	26	23	1
8月	29	21	1	2月	31	29	2
9月	24	21	2	3月	28	27	3
				合計	342	278	20

②権利擁護

地域の住民、民生委員、介護支援専門員などの支援だけでは課題やサービス利用に繋がる方法が見つからないなどの困難な状況にある高齢者に対し、地域において尊厳のある生活が維持できるように専門的・継続的な視点から必要な支援を行った。

ア、延相談件数 12件

イ、利用者数 12名

ウ、内容

- ・高齢者虐待対応 5名
- ・成年後見制度に関する事 2名
- ・金銭管理 4名
- ・消費者被害に関する事 0名
- ・その他 1名

エ、成年後見利用促進協議会 毎月開催

オ、連携機関 香川県消費生活センター、医療機関、後見ネットかがわ 等

③包括的・継続的ケアマネジメント

地域において、多職種相互の協働等により、個々の高齢者の状況に応じて、包括的かつ継続的な支援を推進するため、介護支援専門員の研修を実施し主治医、地域の関係機関等の連携、在宅と施設の連携に取り組んだ。

ア、介護支援専門員向け研修実施

研修日 9月6日 内容 医療系ケアプラン作成について 参加者数 20名

3月8日 内容 介護保険認定調査について 参加者数 39名

イ、琴平町・まんのう町主任介護支援専門員連絡会

開催日 5月9日、9月12日、2月20日

④介護予防マネジメント

町内の給付者件数に大きな増減はないが、新規で委託を依頼するケースでは毎回委託先

に苦慮している。介護保険制度改正で委託を推進しているが、成果は上がっていない。

	介護予防ケアマネジメント		包括的・継続的ケアマネジメント支援業務				包括的支援事業			
	予防給付	総合事業	関係機関からの相談		関係機関との連絡会等の開催		地域ケア会議の開催		認知症初期集中支援チーム	
	実人数	実人数	相談件数	実人数	主催	参加	主催	参加	訪問	会議
4月	101	16	0	0	0	0				
5月	103	15	0	0	0	0				
6月	107	19	2	2	0	1				
7月	108	19	2	2	1	1	2	2		
8月	107	20	1	1	0	0	1	1		
9月	107	21	2	2	0	0				
10月	105	25	2	2	0	0				
11月	103	27	1	1	0	0	2			
12月	107	23	1	1	1	1				
1月	109	25	2	2	2	0				
2月	111	24	1	1	0	0				
3月	117	21	0	0	0	0	2			
合計	1285	255	14	14	4	3	7	3	0	0

⑤一般介護予防事業

i 介護予防普及啓発事業

ア、ゆるーい太極拳

足腰の筋力・バランス力を高めることを目的とし、太極拳講師により実施

毎月1回開催

実施回数 12回

場 所 総合センター

参加者数 実人数 6名、延人数 42名

イ、脳力向上 頭のげんき塾

ストレッチ、指体操、ゲーム、介護予防に関する講義等、包括職員により実施

毎月1回開催

実施回数 8回

場 所 総合センター

参加者数 実人数 21名、延人数 125名

ウ、出張頭のげんき塾

開催日 12月14日 元氣会（榎井）

1月23日 つくし会（五條）

2月 8日 元氣会（榎井）

エ、こんぴらすこぶる元氣塾

健康運動指導士、歯科衛生士と包括職員で運動機能・口腔機能向上につながる教室を実施

ii 介護予防講演会

第1回 開催日 令和5年7月13日（木）
 テーマ 「ちょっと気になるおしっこの話」
 講師 山本ヒフ泌尿器科医院 院長 山本洋之 氏
 参加者 36名

第2回 開催日 令和6年2月9日（金）
 テーマ 「コグニサイズで加齢と華麗に付き合う」
 講師 四国医療専門学校作業療法学科 作業療法士 長尾亜希子 氏
 参加者 17名

⑥地域介護予防活動支援事業

i 介護予防自主活動

ア、からだらくらく体操同好会 登録者数 20名
 イ、こんぴらまちかど体操同好会 登録者数 31名
 ウ、ほんわかヤング 登録者数 15名

ii 介護予防サポーター活動

自主活動グループのリーダー等の活動支援として、介護予防サポーター連絡会、活動状況調査・希望調査の実施、地域での見守りや介護予防事業への参加などを個別に声掛け実施。

	回数	延人数
こんぴらすこぶる元気塾	10	11
脳力向上頭のげんき塾	8	23
介護予防講演会	2	14
認知症予防講演会	1	9
認知症カフェ	22	55
菜の会	11	13
はなの会	11	30
ささえ愛隊	231	311

⑦認知症総合支援事業

i 認知症キャラバンメイト連絡会

琴平町認知症キャラバンメイトと共に認知症サポーター養成講座の内容や啓発活動について検討を行った。

開催日：令和5年9月4日（月）

参加者：2名

ii 認知症サポーター、キッズサポーター養成講座

開催日	受講者	開催場所	参加者数
9月29日	象郷小学校6年生	象郷小学校	16
10月6日	榎井小学校6年生	榎井小学校	11
11月10日	ヤクルト琴平センター社員	ヤクルト琴平センター	5
3月11日	琴平小学校6年生	琴平小学校	20

iii 認知症カフェ

認知症家族からの要望により、家族のみの参加と認知症当事者の参加日を分けて開催した。認知症家族の会では、町内の訪問看護事業による認知症をテーマにした勉強会などを実施。認知症当事者に毎回音読の活動を継続的に実施した。

実施場所：楽集館

家族会		当事者含	
開催日	参加者数	開催日	参加者数
4/18	12名	4/26	9名
5/16	11名	5/24	14名
6/20	9名	6/28	15名
7/18	9名	7/26	15名
8/15	休	8/23	13名
9/19	10名	9/27	13名
10/17	9名	10/25	11名
11/21	9名	11/29	9名
12/19	10名	12/27	14名
1/16	10名	1/24	9名
2/20	7名	2/28	14名
3/19	8名	3/27	8名

iv 認知症予防講演会

開催日 令和5年9月1日（木）

場 所 琴平町文化会館大ホール

内 容 認知症フォーラム in 琴平

「自分らしく生きるために～老いと笑顔とありがとう～」

講 師 認知症キャラバンメイト指南役 近藤 誠 氏

参加者 61名

v 認知症初期集中支援チーム

支援チーム相談・対応件数	1 件
チーム員会議開催回数	0 回
サポート医訪問回数	0 回
チーム員訪問回数 紹介訪問	0 回
継続訪問	3 回
支援終結件数	0 件

※上記以外で支援終結後も、家族、担当ケアマネからの相談に応じ、対応を実施

⑧在宅医療介護連携推進事業

第1回

開催日 令和6年2月29日

テーマ 「在宅医療～薬局での取り組み～」

⑨地域ケア会議

9月開催では、事例対象者の家族参加を得て開催した。しかし会議本来の目的である、地域の課題や新しいサービスの構築などが今後の課題と考える。

実施日	種別	参加人数	内容
7月11日	個別事例	7	在宅生活での転倒リスクが高い
	自立支援	8	サービスにつながらない
11月21日	個別事例	8	重度の認知症を抱えている
	個別支援	8	認知症の妻が介護を行っている
3月22日	個別事例	14	服薬管理が困難
	自立支援	14	介護・障害の制度を調整する

(5) 香川おもいやりネットワーク事業参画法人としての取り組み

①法人間連携協議会への参加

i 参加法人

- ・正友会 ・鶴足津福祉会 かりん園 ・まんのう町社会福祉協議会
- ・琴平町社会福祉協議会

i-b フードバンクへの協力

正友会が年2回フードドライブを行い、食品をフードバンクに寄付してくれた。

ii 支援・・・(P22 参照)

(6) 住民の地域活動の推進

①プラットフォーム関係団体支援

グループ名	内 容
415のわ	<p>目的：琴平で暮らす子どもたちが絵本にふれあうことにより健全な心を育み創造性あふれる子どもに育ててほしいという思いで「絵本文庫どり～む」の運営とお話会を中心に活動している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○絵本文庫どり～む運営 ○定例会の開催（毎月1回） ○お話会の開催（毎月第3日曜日） <p>＜主なイベント＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 5月 お散歩 8月 蝉とり 10月 ハロウィンイベント 約100名の参加 12月 クリスマス会 琴平中学校吹奏楽部協力 2月 フィットネス 等 <ul style="list-style-type: none"> ○英語のお話会開催（毎月第1日曜日）
まちじゅう図書館	<p>目的：図書館のない琴平のまちで、子どもたちが気軽に本にふれあえる環境を作り、豊かな心を育むことを目的とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○会報の作成 町内全戸配布 11月 ○定例会の開催（毎月開催） ○役員会の開催（不定期） ○本箱設置の募集
K ³	<p>目的：子どもたちが安心して遊び、学ぶことができるような環境づくりを目的に活動している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○定例会の開催 計8回開催 <p>こんびっぴ焼き料理教室（夏休み）</p> <p>日時：8月1日</p> <p>場所：琴平町総合センター調理室</p> <p>内容：子どもたちに安心して宿題ができる環境を作り、子どもたちの交流を図ろうと企画</p> <p>参加者：30名</p> <p>キッズことリンピック（冬休み）</p> <p>日時：令和6年1月4日</p> <p>会場：琴平小学校</p> <p>内容：町内3小学校の子どもたちの交流を図ることを目的に開催</p> <p>参加者：45人</p> <p>k³と遊ぼう（春休み）</p> <p>日時：令和6年3月27日</p> <p>場所：琴平小学校</p>

	内容：3小学校の子どもたちの交流を目的に開催 参加者：50名
ウォークアミーガ	目的：町の魅力を発見しながら健康づくりの一環でウォーキングを中心に活動 ○毎月第2、第4月曜日にちよつとこ場から出発

2. 福祉教育・ボランティア学習

(1) 住民による活動推進のための学習会、研修の開催

①第20回四国地域福祉実践セミナーin さぬき市

日 時 令和5年7月15日(土) 16日(日)

場 所 さぬき市源内音楽ホール他

テ ー マ 「オーダーメイドの支援から地域づくりの展開へ」

～地域共生社会を目指したこれからの実践を考える～

参加者数 23名

②地域福祉を考える住民大会 ―第38回琴平町社会福祉大会―

日 時 令和6年2月10日(土) 午前10時00分～12時00分

場 所 琴平町文化会館

テ ー マ 『これからの琴平のまちの目指すべき姿 地域活動を通して』

発 表 者 415のわ 副代表 吉田 瞳氏

K³ 代表 大西良子氏

琴平町社会福祉協議会 新原隆一

参加者数 118名

アンケートの実施

若い方たちの活動が聞けて応援したいと思ったなどの声が多くあった。

(2) 福祉教育推進体制の整備

①福祉協力校活動への協力

学校名	活 動	内 容
琴平小学校	・共同募金協力	福祉教育
榎井小学校	・琴平町の福祉(6年生)	7/13
	・福祉体験(6年生)	12/20
象郷小学校	・共同募金協力	福祉教育
	・琴平町の福祉(6年生)	6/23
琴平中学校	・福祉体験	9/22、10/20
	・共同募金協力	
琴平中学校	・お節配り体験 12/30 18名 17食 配食 ・共同募金協力(ベンチ製作)	社会参加活動 福祉教育
琴平高校	・3年5組への福祉についての授業	11/7 福祉教育

(3) 実習及び養成研修受入

受入内容	人数	所 属	備 考
社会福祉士現場実習	6	川崎医療福祉大学、四国学院大学 新見公立大学	川崎医療福祉大学、新見公立大学は宿泊実習
介護福祉士実習	5	四国医療福祉専門学校 四国学院大学専門学校	

3. 各行事の開催

(1) 住民・ボランティア交流事業「ふれあいデー」

開催日 7月22日(金) 18時00分～19時00分

内 容 芦原すなお氏及びロックンロールフォースメンによるバンド演奏

(2) 第49回チャリティー作品即売展 主催：チャリティー作品即売展実行委員会

・実行委員会 8月21日、9月28日

・開催日 12月2日(土) 3日(日)

延ボランティア数 534名

○決算報告

ア、収入の部

(単位：円)

1、総売上額	1,985,945
2、広告料	522,000
3、寄付金(チャリティー募金)	20,926
4、チャリティー協賛金	20,000
5、募金箱	0
6、レクリエーション保険返戻金	1,372
7、受取利息	6
収入合計	2,550,249

イ、支出の部

(単位：円)

1、材料費	765,048
2、事業実施経費	660,196
支出合計	1,425,244

ウ、収益金

2,550,249 - 1,425,244 = 1,125,005円

エ、配分活動 681,965円

準要保護家庭、老人福祉、子どもたちへのクリスマスプレゼント、ひだまりクラブに配分

4. 関係機関・団体との連携と協力

①民生児童委員協議会との連携・協働

民生児童委員協議会で下記の通り説明及び依頼等を行った。

- 5月 社協事業について
- 9月 「共同募金」依頼
- 10月 共同募金運動の実施
- 11月 チャリティー募金依頼、共同募金送金報告

②これからの地域福祉を考える意見交換会の開催

開催日：令和4年6月10日（金）15：30～17：00

参加者：各婦人会、食生活改善推進協議会、琴平町母子愛育会、

③関係機関との連携・協力先

- ・香川県内市町社会福祉協議会連絡協議会
- ・NPO 法人ねむ工房
- ・コスモスの家運営委員会（Csクリエーション）
- ・障害者生活支援センターふらっと
- ・中讃西部地域自立支援協議会
- ・香川コミュニティ・ソーシャルワーク実践研究会
- ・地域運営推進協議会（グループホームこんびら）
- ・香川後見ネットワーク運営協議会
- ・特定非営利活動法人かがわ後見ネット
- ・香川県共同募金会
- ・特定非営利活動法人香川フードバンク
- ・香川おもいやりネットワーク
- ・全国社会福祉協議会 地域福祉推進委員会
- ・全国包括・在介センター協議会
- ・全国食支援活動協力会
- ・宝食品株式会社

5. 相談支援・権利擁護

(1) 各種相談

①相談受付	法律相談（月1回）	12日	55件
②相談員業務	一般相談（高齢者）	28件	
③障害者相談	件数 延 453件（内訳）	精神障害者	342件
		身体障害者	28件
		知的障害者	83件

(2) 相談対応実績

様々な相談を総合的に職員がその人に必要な支援方法を一緒に考え、主に下記の相談支援事業に繋げ、寄り添った支援の展開。

事業名	相談件数及び利用者数	支援実績
生活福祉資金貸付事業 (※特例貸付含)	相談件数 58件	緊急小口資金 0件 教育支援資金 0件 特例緊急小口 0件 特例総合支援資金 0件
	貸し付けにかかる問い合わせはあるが、要件が合わなく貸し付けの実績はなかった。特例貸付(延長分)の償還手続きとなる年であり、免除、猶予を含めて償還手続きの対応を行った。	
生活困窮者自立支援事業	新規相談 4件 プラン件数 2件	新規プラン作成 0件 電話・相談 延189件 訪問・同行 延 88件 面談 延129件
	途中退職者が出て、引継ぎ等の関係で戸惑いが生じたが、利用者のニーズに応えられるように丁寧に対応を行った。	
日常生活自立支援事業	相談援助件数 385件	
	新規 6名 終了 1名	
成年後見事業 (公益事業)	被後見人 0名 被保佐人 3名 被補助人 2名 身上監護 0名 終了者 1名	支援件数 179件
まるっと安心サービス (公益事業)	利用契約数 10名	生活支援 60件 入退院支援 4件 葬儀供養 0件 死後対応事務 0件 支払い 48件 受診同行 20件
	委員会の開催	2月7日(水) 参加者数 7名 ・基金設置要項の確認 ・ケースの確認 等
香川おもいやりネットワーク事業 (公益的な取り組み)	相談件数 116件 (内新規7名)	現物給付 22件 入居債務保証 5件 (内新規7件) フードバンク 115件

	決まった人のフードバンクの利用が多かったが、新規の利用があり、相談、おもいやりにつながっている。一時的に光熱水費等の支払いができない人の中には、収入があった時に寄付していただいている。		
日常的金銭管理等支援サービス	利用者数	10名	支援件数 396件

※特例貸付とは、新型コロナウイルスの影響によって収入が減った世帯や失職した世帯を対象に行う貸付

④相談支援関連研修会への参加

研修日	内容
4月28日	日常生活自立支援事業担当者会
5月25日	生活困窮者自立支援事業担当者会
7月27日	令和5年度生活福祉資金貸付事業・日常生活自立支援事業・生活困窮者自立支援事業担当者定例会
9月12日	香川おもいやりネットワーク事業連絡会
10月10日	生活福祉資金担当者会議
11月16日	令和5年度市町社協権利擁護担当者会議
12月20日	香川おもいやりネットワーク事業担当者会
1月31日	令和5年度第2回「おもいやりネットワーク事業担当者連絡会
2月19日	成年後見制度利用促進研修会～意思決定支援を考える～

Ⅲ、介護・生活支援サービス

1. 在宅福祉サービス及び生活支援サービス事業

(1) 地域生活支援事業（独自事業）

②特別生活サービス 延86.5時間（制度外の生活支援サービス）

③福祉機器等貸出し事業

「ねたきり予防」「在宅介護支援」等の視点で介護機器の貸し出しを行った。

種別	件数
老人車	0
車椅子	15
歩行器	2

(2) 住民参加型サービス

①調理ボランティア（食生活改善推進協議会他）

毎週火・水・木曜日（12月29日～1月3日は休み） 153日間

調理ボランティア数 延293名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	24	26	24	24	27	23	25	28	24	21	25	22	293
日数	12	14	13	12	14	12	13	14	12	12	13	12	153

②食事サービス

生活支援型の配食事業として、町から受託している配食サービス事業の基準に達しない人に対し、ケア会議で必要と判断される場合に配食を行う。また、夕食も柔軟に対応している。

i 令和5年度実績

(食数)

月	会食			夕食		生きがいデイ参加者	合計
	会食	弁当	おかず	弁当	おかず		
4月	61	79	27	109	77	23	376
5月	72	75	21	143	73	26	410
6月	62	79	26	121	67	25	380
7月	57	80	30	100	65	10	342
8月	47	105	36	127	52	10	377
9月	66	69	34	110	48	22	349
10月	89	67	29	96	45	26	352
11月	65	85	29	84	47	14	324
12月	65	84	31	77	41	31	329
1月	49	67	23	77	42	32	290
2月	57	54	23	85	40	29	288
3月	56	71	25	79	47	28	306
合計	746	915	334	1,208	644	276	4,123

※配食サービスは「P26(4)受託運営事業」に記述

(3) しゃんとせな事業 (ボランティアコーナー事業)

①支援事業 (資材の貸出)

品目	回数	品目	回数	品目	回数
テント	2	サンタクロース	1	わたがし機	3
スクリーン	1	疑似体験セット	1	パレット	1
マイクセット		三角巾		プロジェクター	3
エプロン		臼と杵		ホットプレート	
ブルーシート		マイクセット		かき氷機	1
たこ焼き台		ポップコーン	2	フライヤー	1
机	3	折りたたみ椅子	3	コードリール	3

②感染対策機器材貸出

品目	回数
バクテクター	0
アクリル板	0
非接触型体温計	0

③ふれあい弁当活動

各地区婦人会等の協力により実施

対象：独居高齢者及び高齢者世帯で見守り・声掛けを実施している方

琴平地区：約 300 食の配食

榎井地区：約 130 食の配食

五條地区：約 80 食の配食

※五條地区は、有志で配布。

象郷地区：約 60 食の配食

④古切手、使用済みテレホンカード

- ・古切手及び使用済みテレホンカード 個人 延 1 5 名
団体（事業所）延 1 4 団体
- ・入歯リサイクル 0 件

⑤環境整備・町づくり（季節ごとの花の植え替え、及び草抜き、水やり等管理）

西山花壇 : 西山地区各自治会

(4) 受託運営事業

①配食サービス

一人暮らし、高齢者世帯などで調理が困難な者に対して、栄養のバランスのとれた食事を配達することによって、自立と生活の質の確保及び身体的・精神的な負担の軽減を図る。

②生きがい対応型デイサービス

琴平町に居住する者であって、かつひとり暮らし老人等で家に閉じこもりがちな、おおむね 65 歳以上の在宅の虚弱老人等に対し、通所により各種のサービスを提供することによって、当該高齢者の生活の助長、社会的孤独感の解消、心身機能の維持向上等を図るとともに、その家族の身体的精神的な負担の軽減を図る。

③生活管理指導員派遣事業

琴平町に住所を有するおおむね 65 歳以上の者で介護保険に該当しない人等への、日常生活に関する支援・指導等を行うために生活管理指導員の派遣を行う。

④軽度生活援助員派遣事業

琴平町に住所を有するおおむね 65 歳以上のひとり暮らし世帯、高齢者のみの世帯及びこれに準ずる世帯に属する高齢者であって、入院時等での援助を行うために、生活援助員の派遣を行う。

⑤介護予防事業

琴平町に住所を有するおおむね 65 歳以上のひとり暮らし世帯、高齢者のみの世帯及びこれに準ずる世帯に属する高齢者やその家族に対し、できる限り介護状態に陥ることなく健康で生き生きとした生活を送れるように支援する観点から、開催している。

< 受託事業実績 >

単位：円

事業名	月 委託料	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
		①配食サービス事業	700 食数	571,200 816	676,200 966	640,500 915	615,300 879	653,100 933	601,300 859	683,200 976	672,700 961	601,300 859	641,900 917	
②生きがいデイサービス	2,000 人数	126,000 63	120,000 60	114,000 57	92,000 46	46,000 23	74,000 37	88,000 44	72,000 36	102,000 51	112,000 56	104,000 52	92,000 46	1,142,000 571
③生活管理指導	2,000 時間数	85,000 42.5	108,000 54.0	100,000 50.0	90,000 45.0	96,000 48.0	92,000 46.0	92,000 46.0	92,000 46.0	94,000 47.0	86,000 43.0	84,000 42.0	92,000 46.0	1,111,000 555.5
④軽度生活支援	1,000 時間数	4,000 4	5,000 5	6,000 6	3,000 3	4,000 4	1,000 1	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	5,000 5	28,000 28
⑤介護予防	30,000 回数	30,000 1	30,000 1	30,000 1	30,000 1	30,000 1	30,000 1	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	180,000 6
合計		816,200	939,200	890,500	830,300	829,100	798,300	863,200	836,700	797,300	839,900	865,600	881,300	10,187,600

注 ※総額で内 4,814,600 円は利用者から実費として徴収し、町に納入している。

2. 介護・障害福祉サービス

(1) 介護保険事業

急変、死亡が増加したと感じる。病院からの在宅療養のための引継ぎも多くなってきた。利用者・家族の意識については、介護保険が始まった当初と比べ世代交代が行われ、介護保険サービスに求めるものも変化してきたようだ。サービスを利用することがより身近になっている。家族は「お任せ」から発言権を持つ「チームの一員」になりつつある。

①居宅介護支援事業利用件数 (件)

月	居宅介護支援		月	居宅介護支援	
	実人数	新規		実人数	新規
4	50	1	10	53	0
5	51	1	11	48	0
6	51	2	12	50	1
7	50	2	1	52	3
8	53	3	2	52	1
9	52	0	3	53	4
合計				307	9
1カ月平均				51	2

②研修

○居宅介護支援研修（内部研修）

研修日	内容
6月16日	完全義務化直前、高齢者虐待防止の推進セミナー
10月3日	地域ケア会議事例提供・打ち合わせ
10月17日	認知症基本法勉強会
10月19日	課題分析標準項目の改正について（介保最新情報 1178、1179）

12月12日	ICF勉強会
1月9日	倫理及び法令順守に関する研修（動画視聴・外岡弁護士） 個人情報、プライバシー保護に関する研修（動画視聴）
1月16日	医療除外行為

○居宅介護支援研修（外部研修）

研修日	内容
4月1, 9, 11, 30日	地域づくり加速化事業（オンデマンド）
8月31日	第18回地域連携懇談会
9月6日	第1回琴平町介護支援専門員連絡会
9月11日	認知症フォーラム
11月7日	難病ケアマネジメントセミナー（オンデマンド）
11月25日	ハラスメント対策セミナー（WEB）
3月8日	第2回琴平町介護支援専門員連絡会

③居宅介護支援利用者へのアンケートの実施

利用者に対して業務改善に向けたアンケートの実施

配布数 50部 回収数 29部 回収率 58.0%

④訪問介護支援事業

訪問介護では、毎日訪問の利用者が何名か亡くなられたり、施設入所されるということもあり、新規利用者が増えても訪問回数の増加につながらない状況だった。今後も障害福祉サービスと並行しながら支援をいていく。

○利用件数

月	訪問介護			月	訪問介護		
	実人数	延人数	新規		実人数	延人数	新規
4	34	616		10	34	527	1
5	39	603	4	11	34	517	
6	36	509		12	36	580	2
7	35	514		1	37	523	1
8	33	518	1	2	38	461	3
9	33	510		3	38	462	3
				合計	427	6340	15
				1カ月平均	36	528	2

⑤業務会・研修会

<業務会>

開催日	内 容
4月18日	地域福祉とは… 社会福祉協議会とは…
5月30日	緊急時の対応について
6月19日	熱中症・食中毒の予防について
7月28日	利用者様への言葉遣い・声掛け・誘導
8月22日	認知症の理解、障がい支援の心得について
9月12日	介助方法（車椅子移乗、入浴介助）
10月17日	調理・味付け（透析患者の方・糖尿病患者の方）
11月21日	虐待について、個人の尊厳を守る声掛け
12月19日	感染症について
1月25日	個人情報取り扱いについて
2月20日	令和5年度の反省点、改善点について
3月25日	生活支援・身体介護について

(2) 障害者福祉サービス

特定相談支援事業では、支援学校を卒業したばかりの新規利用者がいる一方で、介護保険サービスと障害福祉サービスを併用するケースがあり、対象とする年齢層は幅広くなっている。

①指定特定相談支援事業 利用者数 20名

②活動状況

月	居宅介護					特定相談支援		
	訪問介護		移動支援		新規	相談件数	計画 (実人数)	新規
	実人数	延人数	実人数	延人数				
4	14	104	11	71		21	1	1
5	13	108	10	63		13	0	0
6	16	109	10	64		14	3	1
7	17	121	11	67	1	17	3	1
8	17	122	11	62		15	1	1
9	17	118	11	68		16	2	0
10	16	120	13	77	2	17	3	0
11	16	121	13	77		16	5	1
12	15	124	12	68		19	2	0
1	13	99	10	55		17	2	1
2	14	112	11	60		18	0	0
3	14	110	12	64	1	20	3	0
合計	182	1368	135	796	4	203	25	6
1カ月平均	15	114	11	66	1	17	2	1

③研修会への参加・協力

研修日	内容
4月10日	相談支援連絡会、事例検討会
5月 8日	相談支援連絡会、事例検討会
5月19日	自立支援協議会
6月12日	相談支援連絡会、事例検討会
6月20日	精神保健福祉部会
7月10日	相談支援連絡会、事例検討会
9月 7日	精神保健福祉部会
9月11日	相談支援連絡会、事例検討会
9月15日	自立支援協議会
10月10日	相談支援連絡会、事例検討会
11月 1日	精神保健福祉関係ネットワーク会議
12月11日	相談支援連絡会、事例検討会
1月 9日	相談支援連絡会、事例検討会
1月19日	自立支援協議会
2月 1日	モニタリング結果の検証
2月20日	精神保健福祉部会
3月11日	相談支援連絡会、事例検討会
3月15日	差別解消会議、自立支援協議会

IV、共同募金運動

①募金活動

募金総額 2,187,510円 (目標額 2,689,000円)

<内訳>

種別	件数(件)	金額(円)	備考
戸別募金	1,885	1,547,750	
街頭募金	2	12,015	
法人募金	36	158,000	
学校募金	7	29,886	
職域募金	18	215,000	
イベント募金	0	0	
個人募金	29	53,297	
その他	6	171,562	内自販機収入 41,170円は直接県共募へ
総 額		2,187,510	

②運営委員会、審査会、監事による監査の実施

令和5年5月18日	監査	地域福祉ステーション
令和4年度共同募金事業及び会計監査		
令和5年5月29日	審査委員会	地域福祉ステーション
令和5年度募金（令和5年度事業）申請事業審査		
令和5年6月13日	第1回運営委員会	地域福祉ステーション
<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度監査報告 ・令和5年度琴平町共同募金委員会事業計画（案） ・令和5年度共同募金推進計画（案）について 		
令和5年9月15日	第2回運営委員会	地域福祉ステーション
<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度共同募金推進計画について ・令和5年度琴平町共同募金活動の流れ 		
令和6年3月22日	第3回運営委員会	地域福祉ステーション
<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度活動実績報告 		

③啓発活動

- ・琴平町民生委員児童委員協議会へ参加し、共同募金協力依頼
- ・民生委員児童委員を通して自治会への協力依頼
- ・SNSの活用（インスタグラムに投稿）
- ・新規法人協力依頼
- ・ガチャガチャ購入・設置（協力店舗：中野うどん学校、田中屋、八千代）
- ・ホテル・旅館フロントでの募金箱設置協力

④街頭募金運動の実施

- 実施日 令和5年10月8日（日）
場 所 一之橋公園
- 実施日 令和5年10月15日（日）
場 所 金陵の郷

⑤助成活動 22団体 26事業へ助成 **助成総額 2,046,133円**

<配分団体別事業一覧>

団体名	事業名
琴平町社会福祉協議会	毎日型食事サービス事業
琴平町社会福祉協議会	ふれあい弁当事業
琴平町社会福祉協議会	地域福祉推進事業
琴平町社会福祉協議会	町づくり事業
阿波町北連合自治会	自主防災事業
阿波町北連合自治会	地域福祉事業
高藪下組自治会	高藪下組自治会防災活動
南旗岡町内自衛防災隊	南旗岡町内自衛防災隊炊き出し訓練
こんぴらアイネット	地域活動支援事業
琴平婦人会	地域福祉事業
榎井婦人会	地域福祉活動事業
食生活改善推進協議会	かがわの食文化事業
とらすとK	神戸に手紙を書く会
阿波町上防災会	阿波町上防災訓練
老人クラブ連合会	地域福祉活動支援事業
「社会を明るくする運動」仲多度地区推進委員会	「社会を明るくする運動」7月強調月間広報活動の出発式とメッセージの伝達式、街頭宣伝、公開ケース研究会
415のわ	子ども読書活動推進事業
K ³	子育て教育を考える会事業
榎井ハッピーネット	第5回榎の木フェスタ
ボランティア連絡会議	異世代交流事業
母子愛育会	地域親子ふれ合い活動
象郷婦人会	独居老人おせちづくり
象郷校区みまもりネット	象郷校区みまもり活動
琴平に図書館を作る町民会議	琴平町に図書館を作る！
ことひらまちじゅう図書館	ことひらまちじゅう図書館プロジェクト
こんぴら朝市実行委員会	地域活動支援事業

○町づくり事業内訳

助成団体	内容
琴平中学校	ベンチ製作

⑦事務局長会議及び担当者会議への出席

V、収益事業

1、特産品（ガリック娘）の販売・促進

①令和5年度実績 **売上金額 2,785,541 円** (R4年度 2,554,973 円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
183g	35	155	192	196	194	122	251	164	263	217	218	266	2,273 本
金額	39,250	176,479	231,682	236,564	223,333	140,463	287,571	195,849	303,559	254,907	255,580	315,154	2,660,391 円
900g	0	3	0	4	8	8	3	2	2	2	1	2	35 本
金額	0	10,200	0	14,750	25,600	30,800	11,200	6,700	7,000	7,350	3,850	7,700	125,150 円
金額合計	39,250	186,679	231,682	251,314	248,933	171,263	298,771	202,549	310,559	262,257	259,430	322,854	2,785,541 円

・町内販売店舗数 16 店舗 ・町外販売店舗数 7 店舗

(その他、社協 HP 上からのインターネット販売も実施)

②広報活動

③フライドガーリック作業 「どこでもガリック子」の販売

働きづらさを抱えている方や引きこもり気味の方の社会参加の場として「どこでもガリック子」の作業に従事している。

従事者 5名

主に、働きづらさを抱えている方の中間就労の場

令和5年度実績 販売数：296 個 **売上金額 394,600 円**

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
40g	0	0	17	51	6	30	16	41	48	11	10	66	296

VI、公益事業

1、まちのキッチン「もぐもぐ」の運営

①開店日：月～金 10時～16時 11月から10時～15時に変更

・毎月24日を「もぐもぐの日」として設定し、割引チケットを配布した。

②売上 **5,917,044 円** 総来客数 9,240 人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
総来客数(人)	778	801	781	764	730	646	858	853	773	715	747	794	9,240
一日平均(人)	39	50	36	36	37	31	39	39	39	38	36	36	
売上額(円)	465,331	467,961	470,748	468,163	443,889	478,920	557,175	534,820	506,186	466,851	513,060	543,940	5,917,044